

## 会長就任のごあいさつ

高槻市障害児者団体連絡協議会 会長 篠原 信次郎

2013年5月の高障連総会で、川人氏からバトンタッチして、会長に就任しました。

まず、1986年高障連結成以来、4半世紀にわたって会長を務めてくださった川人義明氏に心から敬意と感謝を述べたいと思います。本当にありがとうございました。これからも、お元気で、「名誉会長」として、お力添えくださることを望んでいます。

私自身は、35年余の間の視覚障害（2級）に加えて、2005年の脳出血の後遺症で「失語症」となり、ダブル障害をかかえて、一時は生き抜く気力が失せていくような時期もありましたが、懸命のリハビリと皆さんのお励ましによって、ようやく体力が回復し、複雑なことも考えられるようになってきたところです。

そんな私が会長の任務を果たすのは、非常にしんどいです。誰もなり手がなくて、高障連結成以来事務局長や副会長を20年余務めてきた経過からやむなくの苦渋の決断です。

この1期（2013～2015年）は、会長がすべての場面で前面に出るのではなく、それぞれの分野で副会長や事務局長はじめ皆さんと任務を明確に分担して、どんな障害をもっていても、障害当事者が運動の主体になれる高障連にして、次期会長にバトンタッチしたいと思っています。

1986年に高障連を結成して以来、障害者センターの建設をはじめ、障害者の人権と福祉の前進をめざして、障害の種別を越え、一致団結して多くの課題に取り組んできました。

8つの障害者団体が障害の種別を越えて横断的に手をつないで運動を進めている地域は、全国的にもめずらしく、誇るべきことです。同時に私たちは、障害者だけではなく、多くの市民的共感を呼ぶ運動を提起し、市民の皆さんと共に運動を広げてきたことも、高障連の誇るべき伝統です。人権や福祉の後退が進められていく昨今、高障連の力量を高めつつ、多くの皆さんと共に前進したいと願っています。

### \*2013年度役員構成

会長	篠原信次郎
副会長	水谷正美・岸本壮一・金丸恒雄・藤井啓義
総務	硯啓・横貝功・中峯實秋・広川光夫
事務局長	山田義昭
事務局次長	斉藤勇・西村正・堀切公代・佐藤智昭
書記・庶務	伊藤義治・徳島伊津子・和田光子・清水梅乃
会計	斉藤勇（兼務）・硯啓（兼務）
監査	生駒嘉之・藤田務・倉町公之
喫茶たんぼぼ運営委員会委員長	佐藤 智昭（兼務）
名誉会長	川人 義明
相談役	大野芳雄・山本芳康・寺田俊彦



# 2013年度 総会 報告

2013年度「定期総会」が、5月21日(火)午前10時30分～12時に、市立障がい者福祉センター4階研修室において開催された。参加は、加盟団体より64名。

1986年6月の結成以来27年が経過し、時代も「制度改革」に舵が執られ、取巻く環境が大きく変ってきた。運動の目標を高障連の再構築を合言葉に、運動・組織の強化が図られてきた。その総括と2013年度の方針・新たな取組みの確定と新役員の選出に向けて、重要な総会となった。

志半ばであった垣田、水田両役員への黙祷に始まり、川人会長が挨拶。その中で勇退の弁を述べられた。多数の来賓があったが、市を代表して濱田市長、地域を代表して藤田市議会議長、福祉関係から市社協の井出会長、市事業団の杉岡理事長より、代表しての祝辞があった。



議事は、金丸総務を議長に選出し、活動総括、決算報告、監査報告を一括で承認した。続いて規約改正（役員定数変更、文言修正）と新役員の選出が審議され、承認された。新会長に篠原信次郎氏を選出の他、役員の変更があった。篠原新会長の就任挨拶を受けた後、活動方針、予算を審議し、承認となった。議事として、高槻市社会参加促進事業の受託の承認と、加盟団体外に協力団体として高槻喉友会と高槻難聴児親の会の参加が承認された。以上をもって水谷副会長の閉会挨拶により終幕となった。

事務局長 山田 義昭

## 喫茶たんぽぽで ホットしませんか？

### 喫茶たんぽぽ新メニュー！

鯖の味噌煮定食 600円  
ドライカレー 500円  
秋冬限定メニュー♪  
おでん定食 600円  
肉まん 100円



5食以上ならお弁当もお作りしています！ご予算はご相談ください♪ お電話・FAX661-1665

# 発達支援関係事業説明会の報告

9月30日、子育て総合支援センターの柏田副主幹をお招きして、「障がい児通所支援説明会」を開催しました。障害児童に関する窓口が子育て総合支援センターに変わりましたが、まだまだ当事者である保護者に十分理解されているとはいえない現状です。前回3月の説明会から約半年経て、利用が進んだことや少しずつ周知されてきたことを反映してか、前回よりは少ない人数でしたがそれでも60数名の参加がありました。

質疑応答も活発になされ、柏田さんには丁寧に答えていただきました。

ただ、質問には障害福祉課の担当するものも多く含まれ、保護者の側からすれば、おなじ「子ども」に関する質問なのであり、両方の答えを欲しかったという気持ちがあったようです。今後もこうした説明会をするなら、障害福祉課にもでてきてもらうことも必要なのかもしれません。

できるだけ多くのかたが必要な支援を得られるよう、できることを今後も考えたいと思います。

手をつなぐ親の会 堀切公代



## デフ・パペットシアター・ひとみの人形劇の上演を終えて

6月20日（木）多くの皆さんが会場に足をお運びいただき、本当にありがとうございました。デフ・パペットシアター・ひとみは、ろう者と健聴者が共に演じる人形劇団です。この歴史は長く今年は30周年記念としての公演であり各地であります。この間、全国公演はもちろんですが、ヨーロッパやアメリカをはじめ中近東、ニュージーランド、韓国など広く世界各地でも公演されて実績をもっておられます。

公演では、耳に障がいがある方も障がいがない方も共に楽しめるように、単に手話だけでなく音響効果や文字など工夫創出されています。

「森と夜と世界の果てへの旅」を観て、子供にはむずかしいかな～ 人形劇なのに、手話をうまく取り入れ、効果的な笑い声などを文字でも表示していて非常に楽しめた。人間の色々な側面をジュジュマンの旅を通して観ることができました。分かりにくい所もありましたが、不思議な世界観を楽しめました。人間への警告のようなものを感じました。目を閉じると、楽器の音、振動が身体に伝わってきて、それも一つ今回の魅力だと思いました。

末尾となりましたが、実行委員会より、障害者団体に10万円の寄付を行ったことを申し添えます。

デフ・パペットシアター・ひとみの人形劇を高槻で観る会実行委員長  
（高槻市聴力障害者協会 会長）

藤井啓義

# ちょっと気になる 子どもの理解に向けて

2013年11月5日(火) 13:00~15:00

◆場所：高槻現代劇場

□ 文化ホール3階レセプションルーム

◆講師：若宮 英司 氏

(藍野大学医療保健学部教授)

◆主催：高槻市 ◆企画運営：高障連

◆共催：高槻市教育委員会

お申込み不要！無料です！

## 第33回 福祉展

11月30日(土)~12月1日(日)

10:00~15:30

高槻市総合センター

生涯学習センター1階・2階・3階

(高槻市役所横)

11月30日(土)

●生涯学習センター 多目的ホール

11:30~ 記念映画会『逃げ遅れる人々』

12:30~ コンサート

『命輝け高槻第九コンサートの会』

13:00 開催セレモニー

13:30~ 記念映画会 『人生ここにあり』

●生涯学習センター屋外

10:00~フリーマーケット

12月1日(日)

●生涯学習センター 3階 研修室

13:30~記念講演会 講師：立岩 真也氏

テーマ『差別はたぶんなくならないー

でも高槻、大阪の人はやってきた』

●生涯学習センター 1階 展示ホール前

12:15~13:00 コンサート

街かど安全点検・体験ウォークラリー

◆両日 ふれあいアート展 事業所作品展示即

売会 模擬店 スタンプラリー 腎バンク啓発キャ

ンペーン 点字体験・手話ビデオ体験 他

# バリアフリー 命輝け第九コンサート

「生きる喜びの声を合わせ誰もが兄弟になる」と歌う「歓喜の歌」ベートーベンの第九交響曲。私達は音楽を通して心のバリアフリー、社会のバリアフリーを目指し、高槻市福祉展をはじめ様々な場で活動を続けています。今回、同じようにハンディのある人も演奏に参加している「柏原青少年オーケストラ」と共に、さらに第九を歌われている市民の方々の協力も得、命輝け第九コンサートを13年ぶりに高槻現代劇場で開催します。合唱団の特徴は、様々なハンディの為に声の出にくい人や高齢の方々にも歌いやすいように音域を狭くして編曲した「第5パート」があること、さらに手話による全身表現があります。どうぞ、コンサートへお越し下さい！

12月21日(土) 2時30分開演

高槻現代劇場中ホール チケット1000円

主催：命輝け高槻第九コンサートの会

問い合わせ先：072-693-5359 (高井)

◆高障連も第九コンサートのチケット販売に協力しています。チケットご入用の方は、事務局まで

## 高障連のホームページ

<http://kousyouren.com/>

行事案内等掲載したい情報がありましたら下記まで

## ご意見をお聞かせ下さい

TEL 072-672-0672

FAX 072-661-4714

メール kousyouren@tcn.zaq.ne.jp

『高障連会報』では、各団体の皆様からの記事の投稿を募集しています。制度などの情報提供はもちろん、個人の活動(趣味等)の発表の場として活用いただいても結構です。エッセイ・詩・絵画・写真等の作品をお寄せください。